

★ グローカル通信12月号 ★

外務省地方連携推進室
運営ホームページはこちら



外務省地方連携推進室



グローカル外交ネット
外務省と地方が連携する

心は音となって(長崎県島原市とドイツ)



競技場の外からフルートでドイツ国歌を演奏する島原市民



地元の名所からドイツチームにエール

選

「選手たちに応援する気持ちを届けたい!」長崎県島原市は、東京2020大会において、ドイツのパラ陸上競技選手の事前キャンプを受け入れました。新型コロナウイルス感染拡大の影響により、選手と市民の対面の交流が困難な中、市民はホストタウンとして何かおもてなしの気持ちを選手に伝えられないかと様々な思考を巡らせました。フルートでドイツ国歌の演奏を思い立ち練習を重ねてきた市民をはじめ、学生らによるドイツチームとのオンライン交流会やビデオ応援メッセージの発出、長崎ちゃんぽんや佐世保バーガーなど地元料理をドイツ風にアレンジしたオリジナル料理の考案を行い、選手の夕食メニューに加えて提供するなど、選手との直接の触れ合いは叶わなくとも、市民のおもてなしの気持ちが、ドイツチームの心に届けられました。

[詳細](#)

地域の魅力発信セミナーの開催



三重県、奈良県橿原市、鹿児島市・奄美市・屋久島町、一般社団法人淡路島観光協会によるプレゼンテーション

駐日外交団の地方視察ツアー(秋田県鹿角市)の実施



大湯環状列石視察



みそ付たんぼ作り体験

黄

金の物語ツアー」と題して、11月18日から19日まで、外務省と秋田県鹿角市の共催で、駐日外交団が参加する地方視察ツアーを実施しました。外交団は今夏に世界文化遺産登録された「北海道・北東北の縄文遺跡群」の構成要素の一つ、大湯環状列石の視察を始め、鉱山史跡訪問や花輪ばやし実演鑑賞、草木染の伝統工芸体験などを行いました。

約4000年前の古代薫る鹿角の地に息づく歴史、脈々と受け継がれてきた伝統文化、豊かな食文化などについて外交団に大いに理解を深めてもらいました。

[詳細](#)

外

務省では、複数の地方自治体等との共催により、駐日外交団等に対し、各地方自治体の特色・施策に関する情報を発信するセミナーを開催しています。

10月28日に第27回目となるセミナーが初のオンライン形式で開催されました。駐日外交団を中心に約150名が視聴する中、三重県、奈良県橿原市、鹿児島市・奄美市・屋久島町、一般社団法人淡路島観光協会が順次、美しい画像や映像を駆使した巧みなプレゼンテーションのもと、各地域が誇る魅力を伝えました。外交団には事前に各地域の特産品が届けられており、外交団はその地域へ思いを馳せ、旅気分を味わうことができたようです。セミナー当日の様子をダイジェスト映像とともにぜひご覧ください。

[詳細](#)

[ダイジェスト映像](#)

※記事は [詳細](#) をクリックするとご覧いただけます。

※次回配信は1月4日の予定です。グローカル通信に是非ご登録下さい。登録は[こちら](#)をクリック! ご意見やご質問は、gaimu-renkei@mofa.go.jpまでお願いいたします。

[詳細](#)

外交実務研修員研修 ～豊田通商訪問～



研修風景



質疑応答風景

外

務省では、地方自治体から職員を受け入れ、本省及び在外公館でそれぞれ勤務する人事交流制度を設けています。10月26日、外務本省に勤務する研修員が豊田通商株式会社本社を訪問し、ネクストモビリティ、アフリカにおける事業、再生可能エネルギー／プラント、グローバルヘルスケア等同社取組について学びました。中東やアフリカで駐在経験のある社員の方々からお話を伺うことができ、自ずと伝わる現場感・臨場感に刺激を受け、これから在外公館への赴任が控える研修員にとって在外勤務のイメージも抱ける貴重な機会となりました。

[詳細](#)

在瀋陽日本国総領事公邸からの「富山県・岩手県特産品ライブ配信PR事業」の開催 (在瀋陽日本国総領事館)



富山県の魅力をPRする様子



岩手県の魅力をPRする様子

在

瀋陽日本国総領事館と富山県大連事務所・岩手県大連事務所との共催による初の試み、「地方特産品ライブ配信PR事業」が総領事公邸で実施されました。富山県からは高岡漆器、岩手県からは南部鉄器といった伝統工芸品の紹介が行われ、その歴史や製法について視聴者からライブで質問が寄せられるなど双方向での交流が展開されました。富山と岩手の優れた地方特産品の魅力も存分に発信される中、その視聴者数はなんと延べ11,000人以上を数えたそうです!新たな地方の魅力発信の形に大注目です。

[詳細](#)

★地方連携推進室ツイート・ザ・ベスト★ (期間：10/16～11/15)

Twitter / @LocalMofa

最も反響の多かった
ツイートをご紹介します!



local partnership MOFA JAPAN
@LocalMofa

Exactly a #Dreamball! 🎉 A high school student from #Shizuoka_Pref. 📍 got a SPECIAL MENTION 🏆 in "2021 YOUTH WITH REFUGEES ART CONTEST" 🎨 which celebrated the power of sport this year! 🏆 @Refugees She designed 🏆 with images of 🇯🇵 🏆 & a thought of "Enlivening sports from #Shizuoka!" 🎉

UNHCR駐日事務所 @UNHCR_Tokyo · 11月12日
静岡を拠点に活動するラグビーチーム @ClubAzalea @bluerevs の有志の皆さん 🏆

今年、「スポーツ」をテーマに行われた「ユース難民アートコンテスト」で、それぞれのアイデアが詰まったサッカーボールのデザインが特別賞を受賞 🏆

このデザインに込められた想いとはー

unhcr.org/jp/42017-ws-21...



🗨️

🔄 4

❤️ 17

📤

📺

美

しきドリームボール!

今回は、UNHCR (国連難民高等弁務官事務所) がユースを対象に開催した「ユース難民アートコンテスト」で、静岡の高校生の特別賞受賞を紹介したツイートに最も注目が集まりました。

約100カ国から1600人を超える応募の中から選ばれたサッカーボールのデザイン。富士山、日の丸、桜、そして一際目を引く漢字の「和」。まさしくコンテストのテーマである「スポーツを通じてひとつに」がびっちり表現されています!

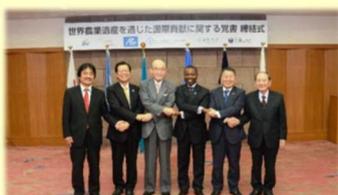
[詳細](#)

世界農業遺産「能登の里山里海」を通じた国際貢献 フィリピン・イフガオとの交流 (石川県)

能

能登の里山里海は、国連食糧農業機関 (FAO) が創設した世界農業遺産に2011年6月に認定されました。日本初かつ先進国としても初となる世界農業遺産登録であり、石川県ではこのことを起爆剤として能登の振興を図るべく、様々な取組がこの10年にわたって展開されてきました。2017年11月にFAOや国連大学、JICA、金沢大学、石川県立大学が覚書を交わして「いしかわ世界農業遺産国際貢献プログラム」が立ち上げられたこともその一例です。地域の共通課題を抱える能登とフィリピン・イフガオ州間では活発な人材交流の取組も行われ、今後の展開にも大いに期待です。

[詳細](#)



平成29年国際貢献プログラム覚書締結式 (石川県)



フィリピン・イフガオ州との人材交流 (イフガオ州)